



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 27

2023.3.29(No.3150)

再生・新生・共生

第2560地区ガバナー／高橋 秀樹
 会 長／西山 徳芳
 会長エレクト／吉井 直樹 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／野崎喜一郎
 幹 事／梨 本 次 郎
 S A A／石 黒 良 行
 会 計／五十嵐博宣
 直 前 会 長／歸 山 肇
 会長ノミニ／渡 辺 良 一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
 E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:57名中37名
 ■先々週出席率:87.50%

【ゲスト】

- ・プロアスリート 當銘孝仁 様
- ・三条市スポーツ協会
 事務局長 岩瀬晶伍 様、
 広報担当 狩野真由美 様

【先週のメークアップ】

- [3.15] 新井妙高RCへ
 ・相場弘介さん
- [3.18] 第53回RA地区大会(新潟)へ
 ・相場弘介さん、小林卓哉さん
- [3.20] 三条南RCへ
 ・山田富義さん、相場弘介さん
- [3.21] 新竹城中RC創立30周年記念式典
 (台湾)へ
 ・西山徳芳さん、梨本次郎さん、
 ・小越憲泰さん、歸山 肇さん、
 ・小森谷敦史さん、齋藤弘文さん、
 ・佐野勝榮さん、関川 博さん、
 ・中村和彦さん、野崎喜一郎さん、
 ・松永隆夫さん、丸山行彦さん、
 ・柳取崇之さん、渡辺良一さん
- [3.22] 市内4RC次年度会長・幹事会へ
 ・吉井直樹さん、小林吾郎さん
- [3.23] 三条東RCへ
 ・石橋育於さん、山田富義さん、
 ・荻根澤隆雄さん、若槻八十彦さん
- [3.25] 社会奉仕セミナー(新潟)へ
 ・渡部 宏さん
- [3.25～26] 全国ローターアクト
 研修会(金沢)へ
 ・相場弘介さん
- [3.28] 第3回地区研修準備委員会(新潟)へ
 ・関川 博さん
- [3.28] 第3回地区大会記念ゴルフ大会
 実行委員会(三条)へ
 ・丸山行彦さん



会長挨拶

西山徳芳 会長

當銘孝仁様、遠い所
 わざわざのお出かけあ
 りがとうございます。
 なかなか卓話に出てこ
 ないスポーツの話、楽
 しみです。

小森谷さんが転勤さ
 れることになりました。
 詳しいことはご本人



からお話しがあります

新竹城中RC創立30周年の祝賀行事に三条RCから14名の
 会員で参加してきました。まったく行き来できなかった3年
 間、顔を合わせる会合は5年ぶりになります。空港に到着し
 て、ホテルに入った後の最初の行事は、前夜祭ということで
 先方の会長と、主だったメンバーが参加され、夕食を囲むと
 言う親睦の場でした。翌日の30周年行事は大変華やかな式典
 で、スライドにあるように、地区大会を思わせるような会場
 作りに加えて、サンバガールがいるような派手な演出での
 受付をしていました。会長の点鐘、開会宣言、挨拶と方通
 りから始まり、我々三条RCからは私、西山が代表して祝辞
 を述べました。登壇の時にファンファーレが付くことにも
 びっくりしました。祝辞はまずは中国語での挨拶を枕に、

後に用意したスピーチをさせていただきました。式典の中盤はだれしも疲れや集中の切れが出るかと思いますが、日本語での挨拶が良いアクセントになったのではないかと思います。その後にはアトラクション、飲食と続き、賑やかな式典を終えました。多くの記念品をいただきましたが、あまりに多かったので、船便で別に送らせていただきました。1ヶ月後の到着になりますので期待してお待ちくださいと思います。記念品の陶器の皿の額は今日ここに持って来ることができましたので、ご覧いただきたいと思います。

また、一緒に参加した会員からも詳しい内容について話があります。コロナの蔓延が収まりつつある中、昨年まではこのような行事が開かれると思っておらず、大変嬉しいことでした。

幹事報告

梨本次郎 幹事



◎新潟中央RCより

「創立30周年記念式典のご案内」

日 時 5月13日(土) 16:00~19:00

会 場 ANAクラウンプラザホテル新潟

◎新潟万代RCより

「創立30周年記念式典のご案内」

日 時 6月4日(日) 14:00~18:00

会 場 ホテルオークラ新潟

◎地区ローターアクトより

「第53回ローターアクト地区大会ご出席の御礼」

ニコニコBOX

西山徳芳会長

桜も咲き、越後のベストシーズンです。ウキウキします。

とうめたかのり
當銘孝仁様、卓話ありがとうございます。

松永一義さん

21日晴天の中、三条「二十歳を祝う会」が挙行されました。皆様のご協賛で、成人の子供達も大変喜んでおりました。有難うございました。

石倉政雄さん

當銘選手、パリ五輪に向け頑張ってください。

関川 博さん

新竹城中RC30周年では、会長はじめ、みなさんお世話になりました。段取りをしていただいた柳取さんには本当に感謝いたします。

小森谷敦史さん

先日は台湾新竹ロータリークラブ30周年記念式典訪問お疲れ様でした。コロナの3年間、海外に行けなかった私も大変勉強になりました。

また、私事ですが、4月1日の内命を受け、三条ロータリークラブ退会となります。短い間でしたが大変ありがとうございました。

梨本次郎さん

先日の台湾では小森谷さんに大変お世話になりました。

無事に新竹城中RC30周年式典も終わり、元気に帰国できてよかったです。ありがとうございました。

斎藤弘文さん

新竹城中クラブ30周年記念式典に参列して、感激しました。色々な方に大変お世話様になりました。

小越憲泰さん

先週の台湾新竹城中クラブ30周年記念式典に参加して、楽しい旅行でした。

杉山幸英さん

信金本店前の桜も満開です。

當銘様、卓話有難う御座居ます。

五十嵐晋三さん

新竹城中クラブ式典に参加された皆さん、ご苦労様でした。

野崎喜一郎さん

台湾旅行では大変お世話になりました。皆様のおかげで3kg増えました。泣.泣.泣.

歸山 肇さん

新竹の訪問も無事終わりました。楽しい時でした。

本日の卓話、よろしくお願ひします。

中村和彦さん

先日台湾旅行お世話になりました。

プロアスリート當銘様、卓話楽しみにしています。

柳取崇之さん

新竹城中RC30周年式典訪問して参りました。参加された皆様お疲れ様でした。

小林吾郎さん

さんしん前の桜が大変きれいですね。

野水靖之さん

桜が咲き始めました。花粉で目は重いですが、足どりは軽いです😊

本日は當銘様、宜しく申し上げます。

松永隆夫さん

通勤途中の桜のつぼみがふくらみかけてきました。大好きな花見の時期がやってきます。

石橋育於さん

都合により早退いたします。

中林順一さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

近藤雄介さん、丸山行彦さん、衛藤泰男さん、若槻八十彦さん、小出子恵出さん、安達俊明さん、長谷川徹さん、石黒良行さん、小林卓哉さん、早川滝徳さん、船越良則さん、佐野勝榮さん、長谷川正実さん

當銘孝仁様を心より歓迎申し上げます。

本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

3月29日分 ￥ 37,000
今年度累計 ￥ 967,000



日本旅行長岡支店の支店長に就任されることになった小森谷敦史会員より、退会のご挨拶をいただきました。今後のご活躍とご健康をお祈りいたします。

4月のお祝い



◎会員誕生祝

- 3日 高橋 司さん
- 7日 重山直明さん
- 8日 安達俊明さん
- 11日 長谷川徹さん
- 16日 関川 博さん
- 22日 歸山 肇さん
- 24日 船越良則さん
- 25日 中村和彦さん
- 26日 高橋俊樹さん
- 29日 飯塚一樹さん

◎夫人誕生祝

- 1日 中林真紀子さん (順一さん)
- 8日 吉井道代さん (直樹さん)
- 11日 小越百合子さん (憲泰さん)
- 13日 梨本百合子さん (次郎さん)
- 17日 丸山静江さん (行彦さん)

◎結婚記念祝

- 4日 丸山行彦さん (静江さん)
- 8日 長谷川徹さん (彩子さん)
- 11日 中村和彦さん (範子さん)
- 16日 中林順一さん (真紀子さん)
- 18日 嘉瀬一洋さん (佐知子さん)
- 20日 小林卓哉さん (仁美さん)
- 20日 寒河江勝俊さん (尚子さん)
- 29日 山田富義さん (幸恵さん)

◎100%出席賞

- 10年 衛藤泰男さん
- 3年 船越良則さん

《2022-2023年度 地区役員の委嘱状》

- ・地区研修準備委員会委員 早川 滝徳 会員

《2023-2024年度 地区役員の委嘱状》

- ・地区研修委員会副委員長 関川 博 会員
- ・地区運営改善検討委員会委員
関川 博 会員
- ・地区研修委員会委員 早川 滝徳 会員



「新竹城中ロータリークラブ創立30周年記念式典訪問」

3月20日(月)～23日(木)



「卓話」



プロアスリート 當銘孝仁 様 當銘孝仁って誰

1992年12月21日沖縄県、本島最南端の糸満市にて生を受けました。戦後祖父が自動車整備工場を起業し、他界後、父が家業を引き継ぎました。一代で成功した祖父の恩恵もあり、祖父、父らは厳しい生活を経験した後、他の家庭を凌駕する生活ができていたと聞いています。幼少期の父はゴーカートをやっている、世界大会に出場し表彰台に乗るなどの成績を納めていたようです。

歯車が大きく狂ったのは祖父の他界後でしょうか。父は元より酒にギャンブル暴力と、家族を困らせる節はありましたがその後エスカレートしたと感じます。私自身が生まれた頃には祖父は他界していましたが、物心つく頃には家庭内は恐怖に怯える毎日を過ごしていました。

4人兄弟の末っ子(内姉1人)三男の私は比較的ましな方でしたが、4～5歳頃の壮絶な光景は今でも覚えています。

お陰で日常の一挙手一投足全てに過敏反応してしまい、ビクビクして顔色を伺いながら生活していました。

その生活の嫌な流れというのは仕事にも影響し、しまいには億を超える借金をして廃業寸前になりました。当時6歳でしたが、家を手放し、工場を手放した事に、何でお家を出なきゃいけないの、大泣きしたのを覚えています。

その後はとても貧しい生活に直面しました。

無情にも大人の事情に付き合うしかない子供。どんなにお金が無くても、父の悪い生活習慣は続き中学卒業まで、殺したいし、死にたいと思いながら生きていました。

逃げ出す為に

休日は手伝うのが当たり前で、夏休みはほぼ毎日家の手伝いをして過ごしました。ギリギリながらに小規模で続けた工場で車を洗ったり、道具を磨いたり、何で俺こんな事してるんだろうと思う日々は続いていました。そんな生活の中で学んだ事もあります。車の部品、特にアルミ製品を売る事で小遣いになる事を学びました。中でもトランスミッションは喜んでバラしました。また力がなくても車を載せたりフトを使ってタイヤからホイールを抜くすべなど、今思うと平成生まれのどこの小中学生がこんな生活してたんだと笑えてきます。

そんな短調な生活の中でも許される事がわかりま

した。その一つは部活でした。もちろん空いた時間や長期の休みなどは手伝いにでましたが、部活をする事は許され家の事に関わらなくて済む時間が作れました。

そしてもう一つが伝統行事への参加でした。私の生まれた糸満市には2つの大きな伝統行事があります。それが糸満ハーレーと糸満大綱引きです。中でも、10人でサバニ乗り込み(伝統的な木造船)3つの村で漕いでスピードを競う糸満ハーレーには幼少期から大きな憧れをもっていました。本格的に祭りに参加できるのは中学生からで、練習は夜にあるので、部活から夜まで家に居なくて済み、好きな事をできる幸せな時間でした。

転機

高校進学を考えだした時、高校に行くべきかそのまま働くべきか考えていました。父の逆鱗に触れた事もあり、高校に行っても金は出さないとされていたのは大きな悩みでした。そもそも勉強のできない自分にとって、行けるのは地元の沖縄水産高校が精一杯でしたが、そこで資格を取って漁師になろうと思い、最終的に進学に踏み切りました。実際進学してからも、アルバイトをして、費用を賄いながら学校に通う生活を送りました。そして、ストーリーとしてはありきたりな展開ですが、バイト先で運命を変える出会いに遭遇しました。

バイト先は海ぶどうの養殖場。一際身体のでかい寡黙な人と池巣を洗っていました。普段は挨拶程度でしたが、数ヶ月した頃に話しかけてきました。「お前出身どこ。ハーレーやってる。体格良いしカヌーやってみないか。今なら格安で内地にいけるぜ。強くなれば海外も行ける。」知りもしない競技だし、漠然とした話しながら、海外に行けるなんて言われた事もないので衝撃を受けました。その方は1つ上の先輩で、部活をサボってバイトに来てた訳ですが、結果的にその後の私の人生にとって大きな分岐点をもたらしました。

忍耐と根性

それからと言うもの、すぐに父に相談し、必死に頼み込む事で部活を始める事を了承してもらいました。始めてすぐにメキメキと力をつけ、2年目には同世代の代表まで登り詰めました。中学からハーレーをやっていた事で、良い水の掴みの感覚や、漕ぎ方などが備わっていた事が成長する上で有利に働いていました。何より、船を漕ぐ事が大好きだったのは成長する上で最も重要な事でした。

成績が出れば出るほど、親父の態度は良くなり家族も少しずつ円満になっていきました。昔は逃げ

出す事に必死な自分でしたが、大切にしている言葉がありました。それは祖母が、私に言い聞かせた「忍耐と根性」です。何があっても何くそと思い、いつか見返してやると言う気持ちを持ちなさい。祖母は生前の祖父が父に浴びせるように言っていた言葉だと言っていました。今思うと、逃げ出していた時の自分は、怯えて逃げながらもいつか見返してやるといふ、とても重要な気持ちの強さを培っていました。それが競技生活の中で、現在でも最も大切だと感じるハングリー精神の源だと思います。

第一章の締めくくり

2021年私の東京五輪はあっという間に終わりました。その不甲斐なさと悔しさから現役続行を決め、周りのサポートもあり今に至る事ができています。その翌年、2022年の国体の試合の前夜に父が死去しました。年々弱くなり、いつしか立場も逆転していました。孫に対し、自分達には見せなかった優しさも、複雑な気持ちやヒヤヒヤする気持ちと共にあっという間に過ぎ去って行きました。

色んな複雑な想いが織り成す中、1つのサイクルの終わりであり、新しい何かの始まりだと感じました。

プロとして

現役を続けるに当たって幾つかこだわりがありました。それは、カヌー界初のプロ契約を結ぶ事。良いトレーニングが出来て生活に困らないようになる事。これからの世代に自分の経験を伝え支援していく事。それらは少しずつ結果が結び付いてきたように感じます。正にこの原稿を書いている最中の大会でも、「スゲープロ選手だ」「當銘さんかっこいい」など、自分で言うのは恥ずかしいですが、カヌーをする上でのロールモデルとして扱われ、他の代表選手との違いを生み始めています。県内でも小中学校を訪問し、講演会や一緒に行う運動を通して色々な事を伝えてきました。中でもスポーツ以外の側面、例えば幼少期や、だらしない一面、苦手な事など、リアルな一面を知ってもらう事は、子供達が新しい事にチャレンジする為の勇氣にもなっているようです。このような活動が、少しずつ業界や

界限に変化を生み、自分自身でも感じられるようになった事に喜びも感じています。拘りをもって取り組む上で、サポートしていただける方々には感謝の想いでいっぱいです。その一つ一つが今の新しい自分を形成していると言っても過言ではないでしょう。

これからもこのような活動を続けながら、パリまで突っ走りたいと思います。

目指すはメダル!!

キーワード："皆んなで掴む"

支援のお願い：

三条市スポーツ協会 事務局長 岩瀬晶伍様

當銘選手のマネジメント活動をしている三条市スポーツ協会の岩瀬です。

2022年3月までは新潟県スポーツ協会カヌー育成指導員として、三条市スポーツ協会所属をしていた折にオリンピック出場まで繋がった事もあり、一緒に日本初のカヌースプリントプロ選手誕生に向けて協力させて頂きました。

日頃から當銘選手は、スポーツ振興と自分の経験を子どもたちに伝えたい。という思いで、昨年までに小学校や中学校へ講演会やカヌー体験会などを開催させてもらいました。

その支援も同時にさせて貰っている所です。スポンサー企業の皆様からは、過分なご支援を頂いている所ですが、予定していた支援数には届いていないのが現実です。現状として、県からの強化費に頼らざる得ない部分があり、オリンピック出場へ向けた十分な支援が整っていないというのが、実情です。

そこで、新たなに小口でも支援をして頂けるような仕組みづくりとして、サポーターズクラブを立ち上げました。

當銘選手が「新潟からパリ」と掲げてくれた事がきっかけで、ここまで関わらせてもらいました。彼の目標が「私の夢」になって、彼の思いが「みんなの夢」になっていけるように、皆様のご支援をお願いする所でございます。

當銘選手を「パリオリンピック」へ皆様と一緒に押し上げていきましょう。

是非ご協力の程、宜しくお願い致します。

次週例会 4月12日

「職場例会」

於(株)ハイサーブウエノ様

次々週例会 4月19日

「IM報告」

西山徳芳 会長

